

代表質問

保健所のあり方検討 市民への説明責任を果たせ



日本共産党議員団
橋積 和雄 議員

が固まり、変更後の内容が明らかになった時点で周知徹底を図っていききたい。

再発言 市民・事業者へ説明責任を果たすべき。市民意

見を幅広く聞き今後のあり方検討に生かすよう求める。

問 生涯、健康で元気に暮らせるまちづくりへの影響は。

答 現在のまちづくり総合プランの施策に大きな影響があるとは考えていない。

再発言 移管後の議論をするだけでなく、保健所を充実し、まちづくりに生かしていく議論も必要ではないか。

再発言 税金の投入は市民理解のもとに行うべき。鉄道敷跡にレールマウンテンバイクを走らせる計画は市民理解の点から白紙にするなど、全体計画の見直しを求める。



宮原坑

社会保障削減と市民生活

問 安倍政権のもとで医療・介護・年金・生活保護など社会保障の改悪が進められている。市民生活への影響と対策は。

答 持続可能な制度とするための措置と考える。
適正な制度運用とともに社会保障制度の動向を注視し、必要に応じて市長会等を通じて要望等を行いたい。

「負の歴史」 伝承の取り組み

問 世界遺産については光の部分だけでなく陰の部分も伝承していくとなっている。具体的な取り組みは。

答 近代化産業遺産を活用したまちづくりプランでも囚人労働、三池争議、三川鉦の炭じん爆発など、苦難の過去についても示している。

問 三池炭鉦での朝鮮人、中国人の強制連行、強制労働についてもきちんと伝えていくことが必要と思うがどうか。

答 国の取りまとめなども受けながら適切な対応を行っていききたい。

保健所の移管計画

問 保健所の役割と評価、政令市解除を求める理由は。

答 人口減少や財政悪化もあり、厳しい業務運営を余儀なくされている。県へ実施主体を変更し、市民の健康危機管理体制の強化を図りたい。

問 移管による市民・事業者などへの利便性・サービスの低下の影響は。

答 市民や事業者などには各種申請等に伴う不便が生じることも想定される。

問 市民へ速やかな情報提供と説明、意見聴取が必要では。

答 具体的な実施方法や時期

世界遺産関連事業の現状と課題

問 世界文化遺産登録から3年、現状と課題は。

答 三池炭鉦跡・三川坑跡も保存・活用計画を策定し、整備・活用に取り組んでいる。関連資産の保全に努め、その価値を市内外に情報発信していく必要がある。

問 世界遺産登録までにかかった費用は。

答 22年度から27年度の間、額で約5億4,200万円。

問 関連事業の費用は。

答 三川坑跡は、これまで約8,200万円、今後12年間で約3億5,800万円。三池炭鉦跡の保存・活用・公開の総事業費は約8億円となっている。

市庁舎整備の検討

問 計画に市民の意見を最大限に反映することが必要。住民合意に向けた取り組みは。

答 市民アンケート、意見交換会、団体説明会等を実施予定、市民意見などを十分に踏まえ検討していききたい。